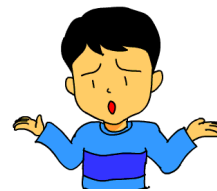
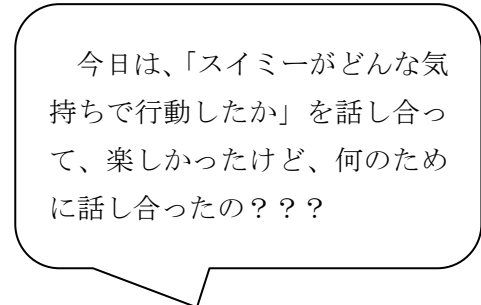
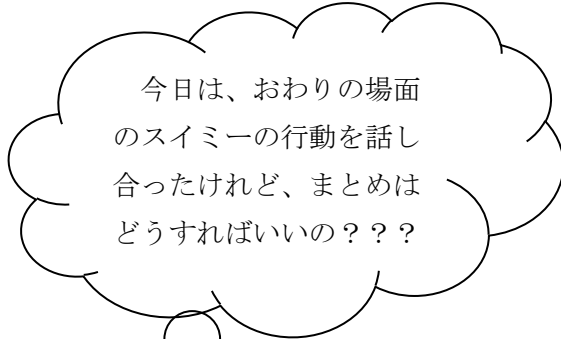


単元で付けたい力を見極める。

2013.12.16

「スイミー」の単元で、言語活動の充実を意識し、スイミーの気持ちを考えるという話し合いを行ったが、「単元で付けたい力の見極め」が不十分だと・・・



「活動あって指導なし」「めあてとまとめの整合性がない」といわれる授業となってしまう。

言語活動の充実において、他教科に比べ国語科が難しい、複雑だといわれるのは単元で付けたい力が、言語活動において「手段」でもあり「目的」でもあるため
思考力・判断力・表現力を育成する。

教科等の目標を効果的に達成する。

言語活動を行う能力を身に付けさせること自体が目標

= 手段

= 目的

だから

単元で付けたい力の見極めが言語活動の充実において、ポイントになってくる。

そのために

学習指導要領の指導事項等を基に

単元で身に付けさせたい力や指導のねらいを十分に確認する。

その結果

- 言語活動が手段になるのか目的になるのか明確になる。
言語活動の選択、ねらいの明確化にもつながる。
- 単元で付けたい力を「まとめ」として、ゴールを明確にできる。
「まとめ」から「めあて」を考えることにより、「めあて」と「まとめ」の整合性が図られる。

では、具体的に「スイミー」の授業で考えると

「話すこと・聞くこと」の指導事項

第1学年及び第2学年

- イ 姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すこと。
- エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。
- オ 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。

これらを単元の目標にすると、伝え合い（話し合い）は**目的**となる。

「読むこと」の指導事項

第1学年及び第2学年

- ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。
- オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。

これらを単元の目標にすると、伝え合い（話し合い）は**手段**となる。

※ 伝え合い 意見形成（広げる、深める） 話し合い 合意形成（まとめる、集約する）
教師用指導書に書いてあるからという理由で、目標等を決めるのではなく、**学習指導要領の指導事項**、教材の特徴、児童の実態、年間の指導事項の配当などから、**単元で付けたい力**を決定する。

単元で付けたい力を見極めて授業を改善すると

指導の中心を「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」とし、さらに、本時では、「一番応援したい登場人物の行動を読み取る。」とすれば、言語活動の目的も明確になり、さらに「まとめ」と「めあて」の整合性も図れる。

まとめは「スイミーは目になり、大きな魚をおいだした。」

めあては「1番応援したいスイミーの行動はどこか伝え合おう。」としよう。

めあてに迫るために言語活動として「伝え合う場」を設定しよう。

ぼくは、「目になり、大きな魚をおいだした」スイミーの行動を応援したいと思ったけれど、まぐろからにげて、くらい海のそこをおよぐスイミーを一番応援したいと思う友だちもいるんだな。スイミーの行動は、いろいろあるんだな。



本時のまとめは、読み取ったことを**伝え合う**ことをもとに作るので、一つに限定する必要はありません。複数の意見をまとめとして板書することも考えられます。しかし、「登場人物の行動」という判断基準があるので、まとめが曖昧になることはありません。さらに、スイミーの行動変化につなげることもできます。

